

## 次世代戦略会議

議長 坂本雄平

### 【基本方針】

5 こだま地域は多くの地方都市と同様に「少子高齢化」という課題を抱えています。2040年のこの地域の総人口は約20%減少、生産年齢人口は3割以上減少すると推計されており、生活関連サービスの縮小、税収減によって行政サービスが低下し更なる人口流出という悪循環が考えられます。こだま地域はこうした状況を踏まえた都市設計を考える必要があります。次世代戦略会議は近年急速な発展が見られる先端技術を取り入れた未来のこだま地域を設計する事で、私達の暮らしがより豊かなものになってゆくと考えます。将来的にはインフラの維持コストが抑えられ地域行政が効率化することで住民サービスへ多くの投資が可能になります。新しい視点や仕事が必要な未来のこだま地域では暮らしや仕事を楽しむ人達が集まり、そのような人達とこの地域を考えることで持続可能な地域が実現されると考えます。6月例会は地域の持続可能性について参加者と共有できる例会を開催します。9月例会は未来のこだま地域に必要な技術を体験し、そのような地域を形作る為の計画を発表します。その結果、

10 こだま地域の未来に魅力を感じる人が増え持続可能なまちに成ってゆくと考えます。

6月例会では行政機関や住民、企業を対象に講師例会を開催し未来のこだま地域を考えます。SDGsに造詣の深い講師と将来の経済状態や生活の変化をシミュレーションし、地域の持続可能性について議論します。様々な業種の参加者と他の地域の事例も踏まえ議論する事で当事者意識の向上と協力体制を構築し、都市計画へ活かします。参加者の意見と事前に集めたメンバー意見を基に「未来都市計画」を作成致します。

20

9月例会は、6月例会での議論を基に作成した「未来都市計画」を体験できる「未来のこだま地域展」を開催します。経済活動や生活に変化をもたらす先端技術やサービスを主要場所に設置、参加者に体験して頂きます。ここでは持続可能な都市で要になる「移動」を中心に参加者が未来のこだま地域を体験します。そうすることで地域を再認識し都市設計の可能性を感

25 じていただく機会に繋がります。また、完成させた「未来都市計画」を行政機関に提言し、生産性が向上し易い未来志向のこだま地域に成るきっかけを作ります。

2つの例会で、行政機関や住民、企業はこだま地域の未来を確認し、地域の持続可能性を再認識します。それにより今後の活動の視点が増え行動が変わり、よりよい地域が形作られてゆきます。地域の特徴に応じて先端技術やサービスを都市設計に取り入れる事で未来に  
30 対して開かれ、地域外から人や企業が移りたくなる地域へと進化できると考えます。今後、まちづくり運動を継続してゆくには会員拡大が必須です。地域の魅力を共有できる会員を率先して拡大することでこの地域の未来を創造してゆきます。一年間宜しくお願いします。

#### 【事業計画】

1 6月例会の開催

35 2 9月例会の開催

3 提言書の作成提出

4 拡大褒章を受章する

#### 【事業予算】

1,050,000 円